



20周年記念コンサート



CONCERT at ASHLEIGH

No.17



【バッハ、ヘンデル、スカルラッティ=生誕330年/サン・サーンス生誕180年/フォーレ=生誕170年の作品】

プログラム PROGRAMME * 各演奏者のトーク(話)付きです

1. 栗秋 高子 Piano Solo + Narrator 竹口 範顕

Koko Kuriaki

Noriaki Takeguchi

★ サン・サーンス C.Saint-Saëns) “動物の謝肉祭”全14曲 Le Carnaval des Animaux

ピアノ独奏版編曲=L.Garban

Recueil Piano à 2 mains, Transcription par L.Garban



栗秋 高子: ピアノ



竹口 範顕: 語り

2. 荒井 直孝 Piano Solo

Naotaka Arai

★ ヘンデル G.F.Händel

組曲 第3番より “前奏曲” “フィナーレ” Suite III Prélude, Finale

★ スカルラッティ D.Scarlatti

ソナタ ホ長調 K.380 Sonata E major K.380

ソナタ ト長調 K.427 Sonata G major K.427

★ バッハ=ケンブ J.S.Bach=W.Kempff

シチリアーノ Siciliano

★ グルック=ケンブ Ch.W.Gluck=W.Kempff

“オルフェオの嘆き”と“精霊の踊り”

Orpheus' Klage-Reigen der seligen Geister

★ バッハ J.S.Bach

イタリア協奏曲 Italienisches Konzert BWV 971



荒井 直孝: ピアノ

♪♪♪ 休憩 15分 INTERVAL 15 minutes ♪♪♪

3. 片桐 典子 Piano Solo/片桐 典子 + 山本 奈々子 Piano Duo

Noriko Katagiri

Nanako Yamamoto

★ バッハ J.S.Bach

前奏曲とフーガ イ短調 Präludium und Fuge BWV895

★ フォーレ Gabriel Fauré

8つの小品 作品84より 第3番 “フーガ” イ短調

Pièces brèves Op.84-3 “Fugue” Andante moderato

夜想曲 第4番 変ホ長調 作品36 Nocturne Op.36

夜想曲 第8番 変ニ長調 作品84-8 Nocturne Op.84-8



片桐 典子: ピアノ



山本 奈々子: ピアノ

<連弾> 組曲 “ドリー” 作品56 全6曲 Pour Piano à 4 mains “Dolly” Op.56

9つの前奏曲 作品103より 第3番、第5番、第6番 9 Préludes Op.103-3, 5, 6

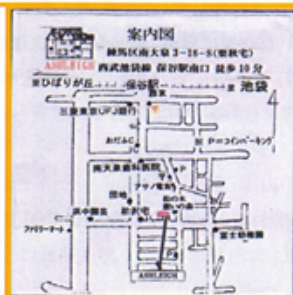
2015年 4/5 (日) 2:00p.m. 開演 (開場 1:30p.m.)

会場 ASHLEIGH 練馬区南大泉3-18-8 (栗秋宅) 西武池袋線 保谷駅南口徒歩10分

全自由席 ¥3,000 / 学生 ¥1,500 サングリア(orソフトドリンク) & パン・リエット付き

先行予約 ¥2,500 (3月5日まで御予約の方の割引料金)

○ お問い合わせ・ご予約: TEL & FAX 03-5387-6503 (栗秋)



ご挨拶

お陰様で“Concert at ASHLEIGH”も、1995年4月29日の第1回開催から今年で17回目＝20年目を迎える運びとなりました。皆様の長きにわたっての温かいご支援に深く感謝申し上げます。

2015年、生誕330年の“バッハ、ヘンデル、スカルラッチィ”、生誕180年の“サン・サーンス”、生誕170年の“フォーレ”の作品を“アンケート”でもご希望の多かった「連弾」、「語り付」を、新しい「客演者」お二人（語り：竹口範顕氏／連弾：山本奈々子氏）にも参加頂き、プログラムの中心に～

この時期、キリスト教の国々では“復活祭＝Easter（キリストの復活を祝う祭り）”を前に様々な「謝肉祭＝カーニバル」が繰り広げられます。“リオのカーニバル”、“ヴェニスカーニバル”等々。

2015年4月5日（日）は、まさに“復活祭＝Easter”当日。小さなお子様も楽しめるサン・サーンスの語り付“動物の謝肉祭”をかわきりに“Easter”気分浸って頂ければ幸いです。

演奏終了後は、自家製「サングリア」と「ソフトドリンク」とプロお手製「パン&リエット（スペイン小皿料理＝ロマーノ）」で、出演者と共にお寛ぎ下さい。

出演者プロフィール

～栗秋 高子（クリアキ コウコ）：ピアノ

1977年、ワルシャワ高等音楽院にてB.ムジンスカ女史に師事。1973年～1986年、文教大学助手、講師、他を経て1986年渡英、B.カップラン氏に師事。1991年ロンドンより帰国。帰国後も毎年渡英。B.カップラン氏には、氏、急逝の年2011年の9月まで師事。1995年4月29日、自宅（練馬区南大塚）にて“Concert at ASHLEIGH（＝Bösendorfer Pianoによるコンサート&展示）No.1＝第1回”を古巣の文教大学のメンバーと開催。以降“ブシャジン（＝1977年ワルシャワで出逢った仲間のコンサート）”他の仲間も加わり、今回で17回を重ねる。国内において～故石田昌孝、故小島喜久寿、故木村潤二、北川暁子の諸氏に師事。

～竹口 範顕（タケグチ ノリアキ）：語り

NHK アクターズゼミナール、東京演劇アンサンブル俳優教室を経て、1992年に同劇団に入団。国内・海外の現代戯曲を中心に出演作多数。練馬・武蔵関の「プレヒトの芝居小屋」を拠点に、現在、全国各地の小・中・高等学校での『銀河鉄道の夜』の巡回公演に出演中。

～荒井 直孝（アライ ナオタカ）：ピアノ

武蔵野音楽大学卒業。洗足学園音楽大学 M.エッガー教授によるマスタークラス修了。続いて同教授のコンサートクラス修了。武蔵野音大の同期生と共にピアノコンサート「萌木」を結成し、定期的に演奏会を催す。又、「母と子の為のピアノデュオコンサート」「連弾の楽しみ」等をはじめ数々のピアノデュオリサイタルを開催。文教大学吹奏楽団及び室内合奏団と共演の他、伴奏等の活動を行っている。“Concert at ASHLEIGH”には2008年から今回で6回目の出演。故谷康子、世川岬子、故的場喜美、故マックス・エッガーの各氏に師事。現在、文教大学、聖徳大学で後進の指導にあたっている。

～片桐 典子（カタギリ ノリコ）：ピアノ

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。ピアノを故林秀光氏に、室内楽を岩崎淑子氏に師事。在学中、東京文化会館主催「推薦音楽会」に出演。ワルシャワ高等音楽院夏季セミナーに参加。L.コズベック氏に師事。その後、家永音楽事務所ピアノオーディションに合格。音楽事務所主催の音楽会に数回出演。「ブシャジン」「桐'76」等のメンバーとしてソロやデュオの演奏活動を行う。“Concert at ASHLEIGH”には今回で4回目の出演。現在、竹早教員養成所音楽講師。又、2004年より、発達障害をはじめ、様々な障害や疾患を持つ対象者への音楽療法を行っている。

～山本 奈々子（ヤマモト ナナコ）：ピアノ

1977年、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。1978年、ザルツブルグ夏季音楽講習会に参加。ピアノを飯守美絵子氏、太田戸紫子氏、上野久子氏に、室内楽を岩崎淑子氏に師事。